

「第30回 議会報告会・市民との意見交換会」での、市民からのご意見への行政の回答

<p>Q. 【国保決算剰余金について】 剰余金160億円のうち74億円が国への返還金となる理由は。市単位だった時も同じ仕組みなのか。</p>	
1	<p>回答所管課 国保医療課</p> <p>決算剰余金の160億円には、国からの法定繰入金も含まれており、その負担割合に対して国に返還しています。仕組みとしましては以前と変わりません。</p>

<p>Q. 【衣浦・豊田線の有料道路の廃止について】 ・有料道路は廃止し、（下道の混雑緩和のため）牛田地区にある料金所の場所を名鉄三河知立駅の移転先や、区画整理の道路整備に利用しては。 ・碧南市にある海底トンネルの無料化も碧南、高浜、刈谷市等と要望しては。</p>	
2	<p>回答所管課 都市計画課</p> <p>衣浦豊田線を管理している愛知県道路公社に確認したところ、無料化については、建設費の償還が完了するまではできず、償還期間が令和16年3月までの予定であるため、無料化についてはそれ以降に検討していくことになるということでした。また、衣浦トンネルは償還期間が令和11年11月となっています。</p>
	<p>回答所管課 協働推進課</p> <p>碧南市と半田市を結ぶ海底トンネル（衣浦トンネル）は、碧海地域と知多半島を往来するうえで非常に利便性の高い道路として、地域住民の皆様に親しまれていることと思います。償還期間は上記のとおりです。当市が管理に携わるものではなく、ご理解いただきますようお願いいたします。</p>

<p>Q. 【河川の災害対策について】 関東方面の水害では、大きな川から水が入り、中小河川の氾濫が発生した。 境川から猿渡川や逢妻川への水の流入を防ぐため、対応を考えてはどうか。</p>	
3	<p>回答所管課 土木課</p> <p>境川や逢妻川、猿渡川につきましては、愛知県が管理しており、現在は河川整備計画に基づき、河川整備を進めております。 具体的な事例としまして、刈谷市と東浦町地内の境川と逢妻川の河口部にて中堤を撤去する工事や、知立市内の猿渡川にて河道を広げる工事を行い、川の流れの改善に努めております。</p>

<p>Q. 【知立駅周辺整備事業について】 知立駅及びその周辺事業での総事業費、借金額及び借金の返済方法を教えてほしい。</p>	
4	<p>回答所管課 都市開発課</p> <p>知立連続立体交差事業は、総事業費 610 億円(市負担は約 105 億円)。知立駅周辺土地地区画整理事業は、総事業費約 210 億円(市負担額は約 105 億円)。今までの実績によると、事業費の約8割を地方債にて充当しておりますが、返済方法につきましては計画的に償還してまいります。</p>

<p>Q. 【企業誘致等について】 今後の企業誘致の方向性について。</p>	
<p>5</p> <p>回答所管課 企業立地推進課</p>	<p>今年度より企業誘致の専門部局である企業立地推進課を新設し、現行の産業促進拠点に加え新たな立地可能な適地の選定を行い、知立市への企業進出機会を増加させます。また、ワンストップ相談窓口の設置等により、企業の進出相談の利便性向上、対応の迅速化を図るとともに、市内企業の事業拡大や知立市への進出企業に対する優遇制度を創設し、企業の事業拡大をしやすい環境を整備します。</p>

<p>Q. 【リリオホールのあり方について】 第3セクターとして3, 800万円の補助金がある。この経緯や考えは。</p>	
<p>6</p> <p>回答所管課 経済課</p>	<p>知立まちづくり株式会社は、リリオコンサートホールがある中町銀座地区のにぎわいを取り戻す目的で「市街地再開発事業」が施行され、ホール、駐車場、ホテル、住宅（マンション）が建設され、このうちホールと駐車場の管理運営するために1994年に設立された、知立市出資の第三セクターの会社です。</p> <p>知立まちづくり株式会社へは、「知立まちづくり株式会社運営事業補助金交付要綱」の規定に基づき、ホール、会議室、駐車場などの管理運営に必要な人件費、施設の修繕・保守管理費など公益上必要と認められる経費に対して補助金を交付しています。ホールの特徴を活かしたコンサートなど文化事業も多く開催され、中町銀座地区への来訪増に寄与し、文化振興や地域振興には一定の効果があると判断されます。</p>